

会員のひろば



大学技術士会「北翔会」の紹介

株式会社 開発工営社
北翔会事務局長
技術士（建設部門） 大谷 高志

1. はじめに

「北翔会」は北海学園大学出身の技術士で構成された同窓会です。会の目的は、「会員相互の資質向上と連携を高め、同窓生の技術士資格取得支援と社会貢献を目指す」というものです。1997年（平成9年）7月11日（金）に札幌ガーデンパレスホテルにおいて記念すべき第1回総会が開催されました。その後、11年が経過し、現在、約130名の会員（技術士）で活動しております。

以下に会の活動についてご紹介いたします。

2. 活動

(1) 総会・合格祝賀会

総会と合格祝賀会は、毎年4月に技術士資格を有する本学の教授と新合格者を招いて開催していま

す。今年は新合格者のうち13名を招待し、4月15日（火）に開催いたしました。最初は緊張していた新合格者も、周りは皆同じ大学出身者ということもあつ



写真-2 祝賀会風景



写真-1 平成20年 北翔会新合格者参加者

てすぐに緊張がほぐれ、お酒の酔いも手伝ってさらに会話が弾み、いつもあっという間に時間が経ってしまいます。

(2) 技術士第一次試験の受験指導

2004年度(平成16年度)までは、毎年本学の工学部に出向き、学生を対象にした技術士補講習会を開催しておりました。その内容をご紹介しますと次のとおりです。

- ① 北翔会講師による技術士制度についての説明
- ② 学生合格者ならびに社会人合格者による合格体験談
- ③ 北翔会講師による試験問題の傾向と対策についての説明
- ④ 演習問題の実施

講習会終了後、工学部生協食堂で北翔会総会を開催し、総会終了後、講習会に参加した学生を招待し



写真－3 技術士補講習会(1)



写真－4 技術士補講習会(2)



写真－5 技術士補講習会後の学生との懇親

て懇親会を開催していました。現役の学生がOBと触れ合うことで、就職活動への不安や疑問の解消、将来の技術士資格取得に対するインセンティブを与える絶好の機会でした。

その後、2005年度(平成17年度)に本学の社会環境工学科(旧土木工学科)がJABEE認定となったことから、学生を対象とした受験指導は終わりとなりました。

今後はJABEE認定前の卒業生を対象とした受験指導を計画しています。本学の教授にも協力をいただき専門科目、共通科目の指導などを検討中です。

(3) 技術士第二次試験の受験指導

発足当時から本学出身で受験を希望される方に対し、次のような指導を行ってきました。

- ① 受験者と同じ専門科目の技術士による受験指導(受験申込書の作成、体験論文テーマの選択指導)
- ② 添削による論文作成指導(体験論文、建設一般論文、専門科目論文)
- ③ 受験に当たっての学習方法の指導(学習カリキュラムの作成指導)
- ④ 試験全般に対する疑問点への回答

これまで数名の受験者に対し受験指導を行なってきましたが、全員が合格しています。

現在も総合技術監理部門を含めた技術部門について受験指導を行っています。

(4) ホームページ

会員への情報提供を行うためにホームページを2004年(平成16年)1月27日に開設しました。ホームページでは次の情報を提供しています。

- ① 会長挨拶
- ② 役員・顧問
- ③ 北翔会規約
- ④ 活動状況
- ⑤ 会員状況

開設から4年が経過し、情報も古いものになってしまいました。タイムリーな情報の提供を目指し、現在、リニューアルを計画中です。



写真-6 北翔会ホームページ

3. 工藤昇顧問の叙勲を祝う

北翔会初代会長である工藤昇顧問が、去る平成20年5月9日皇居において、「瑞宝双光章賞」を受賞されました。あらためまして会員一同は、このたびは瑞宝双光章受賞に際し大いなる敬意と賞賛を表します。

工藤顧問のこれまでのお役所時代からの取り組まれたお仕事の実績や種々の社会貢献などが国の最高の評価であります叙勲を受けられたものと思います。ここに工藤顧問の経歴ならびに業績をご紹介します。

工藤昇顧問は、1937年(昭和12年)に生まれ、1963年(昭和39年)に北海学園大学短期大学部土木科を卒業。1994年(平成6年)に北海道開発局留萌開発建設部次長を辞職されるまでの35年間、北海道の開

発行政に携わってきました。その後、(財)河川環境管理財団に転じられ、北海道事務所長を歴任した後、2000年に(株)建設維持管理センター代表取締役役に就任され、現在に至っております。1995年(平成7年)から3年間、北海学園大学で測量学の講師を務められました。

主な業績は、次のとおりです。

- ・1975年(昭和50年)：河川事業において軟弱地盤改良パイルネット工法を発明(土木学会北海道支部技術賞)
- ・1992年(平成4年)：野鳥の営巣ブロック及び営巣構造物を発明(科学技術庁長官 注目発明選定証)
- ・1988年(昭和63年)：海岸事業において海岸緩傾斜護岸ブロック(波の吸収型中空二階建て構造)の発明(海岸線の防災効果に寄与)

これらの業績が評価され、1999年(平成11年)に土木学会技術功労賞を授与されました。



写真-7 瑞宝双光章賞 表彰状



写真-8 瑞宝双光章賞 受賞

技術士は1994年（平成6年）に建設部門（河川、砂防及び海岸、海洋）で取得され、2002年（平成14年）に日本技術士会に入会、現在は「いしかり技術士会」会長を勤め、地域活動を行っています。

4. おわりに

北翔会は、北海学園大学出身の技術士が会員という会です。今後は、種々の活動を通じて会員相互が連携し、本学出身の同窓技術士を多く輩出することによって大学系技術士グループとして知名度を高め、ひいては日本技術士会への貢献に繋がると考えております。

最近、全国的には、東京工業大学蔵前技術士会、日本大学桜門技術士会、武蔵工業大学大柏門技術士会、千葉工業大学技術士会、早稲田大学技術士稲門会、工学院大学技術士会、東北大学技術士青葉会、大阪工業大学学園技術士会、摂南大学技術士会、名城大学技術士会、武蔵工業大学芝浦技術士会など出身校による技術士グループが多数創設され、社会に貢献されています。

我々もできることならば、全国的ネットワークを高め、社会に寄与していきたいと考えています。それには、まず個々人とグループの足腰の強化が重要です。

今後、道内にも同様のグループができ、交流戦(宴会など)ができれば楽しいだろうと個人的に夢見ています。

北翔会をどうぞよろしくお願いいたします。

追記

本稿を借りて北翔会会員の皆様にはお願いです。

個人情報保護法の施行で、2005年度（平成17年度）以降の卒業名簿が入手できず、会員の皆様の最新情報を把握することができません。

すでに会員なのに案内が届かない方、または合格者をご存知の方はぜひ私までご連絡ください。

(株)開発工営社 共通事業本部地質部
大谷 高志

TEL(011)207-3666 FAX(011)218-5777
E-MAIL: ohtani@kai-koei.co.jp

【北翔会ホームページ】

<http://www.geocities.jp/hokusyokaijp/>

表-1 北翔会 役員一覧（総会員数 130名）

役 職	氏 名	技術士会等の関連活動
会 長	松井 義孝	本部防災支援委員会副委員長 支部技術交流研究会会長
副 会 長	加藤 龍一	支部事業委員会委員
	藤原 朗	支部防災委員会交通部会
事務局 長	大谷 高志	リージョナル・ ステート研究会事務局長
事 務 局 次 長	工藤 康雅	支部地域産業研究会委員 支部技術士試験委員会委員
	木村 隆暢	支部防災委員会交通部会
幹 事	東 彰	リージョナル・ ステート研究会会員
	柴田 達	支部防災委員会都市部会
	伊藤 史弘	支部防災委員会交通部会
	金田一淳司	北翔会幹事
監 査	大谷 諭	北海道支部事務局長

顧 問 (旧会長)	工藤 昇	いしかり技術士会会長
	田川 輝昭	支部業務委員会委員長

2008年（平成20年）4月現在



写真-9 北翔会の旗